

運動公園として最もふさわしい整備について検討したい。施設の老朽化対策の費用については、計画的に公共施設整備基金を積み立てていきたい。また、公共施設等総合管理計画を策定する際には、新たな基金のあり方も検討したい。

旧上福岡プールの解体し跡地活用を

伊藤美枝子議員

問 旧上福岡プールを休止して丸8年が経過し、そのままの状態にある。防犯上も解体が望ましい。



旧上福岡プール

い。跡地活用を。問 プール解体及びその後の整備計画は、地盤調査など詳しい調査が必要状況。運動公園にふさわしい整備の方向性を検討する。

水道事業の維持管理

小高時男議員

問 水道事業は料金収入で賄う独立採算が原則。平成25年度末で給水原価134・01円/m、供給単価111・81円/mとなっており、1m当たり22・2円の逆さやの状態となっている。現在は人口増により加入金等の収入で収支の均衡を保っているが、今後、地震発生時に人命や社会経済に重大な影響を与える耐震性が低い石綿セメント管等の、老朽管の更新事業に費用が必要となるのでは。

答 老朽管の更新は、費用が高額となる大口径の管渠が多く残っている。給水原価が供給単価を上回る逆さやの状態が続いている。

ており、安定した水道事業を継続するため経費の削減に努める。継続困難な場合は、料金の改定を

住民生活を守る

環境整備

土地の有効利用

仙田 定議員

問 上福岡5丁目雨水浸透槽設置後の土地に、ポケットパークを。

答 施設の維持管理に支障とならない範囲で、ベンチ等を設置できるスペースを設けたい。

旧尚美学園大学前道路及び歩道の補修

西 和彦議員

問 旧尚美学園大学は、建物が取り壊され宅地の開発が進んでいるが、前面の道路及び歩道に損傷箇所が生じている。工事に伴う損傷について、開発事業者との協議はされているのか。

答 工事了後、市の立ち会いにより損傷箇所の検査をするので、損傷箇

所があれば補修をさせる。削減に努める。継続困難な場合は、料金の改定を

お願いする場合も考えられる。

旧埼玉県大井教職員住宅跡地の利用

西 和彦議員

問 旧埼玉県大井教職員住宅については、現在利用がされていないが、市としてこの跡地利用についてどのように考えているのか。

答 この施設について、県から買い取り希望の打診があり、都市公園用地とする方向で話し合っているのか。



旧教職員住宅

いる。今後、県と必要な協議を進め、地域の要望も受けながら公園の計画を進めていく。

ふじみ野高校周辺地域のインフラ整備

西 和彦議員

問 ふじみ野高校周辺地域は、市街化調整区域のため上下水道などの生活基盤となる施設整備が手つかずの状態となっているが、その整備促進の考えは。

答 この地域は、市街化を抑制すべき区域のため、面的整備をはじめ公共下水道といった都市施設の整備が現状では難しい。区域全体ではなく個々の事案について、それぞれ対処していきたい。

無線LANの早期導入を

小林憲人議員

問 災害時は避難所となり、平常時は会議室となる施設については、無線LANスポットを導入すべきでは。

答 関係部署と調整を図りながら、導入に向けた研究を進める。

新設バス路線の停留所等の協議

谷 新一議員

問 ふじみ野駅東口とららばーと富士見を結ぶ新設バス路線の停留所等の協議については。

答 市内に停留所の計画はなかったため、市では2カ所の設置を要請した。事業者からは1カ所設置する回答が得られている。

溢水の危険性は

谷 新一議員

問 元福岡地域に設置される排水ポンプ等の効果と、江川都市下水路から

の溢水の危険性は。問 逆流防止弁により江川都市下水路からの逆流を防ぎ、内水を一時貯留したピットから強制排水する。また近年のゲリラ豪雨等により溢水した例はない。

「平和都市宣言」の懸垂幕を

伊藤初美議員

問 平成27年は平和都市宣言から5周年。市役所に懸垂幕を設置しては。

答 庁舎整備の環境が整った段階で検討したい。



市民平和のつどい

公民館の利用権利

塚越洋一議員

問 公民館は社会教育施設として、経済的条件下によって利用できない人がいてはいけない。市民の学習する権利を無条件で保障すべきでは。

答 公民館は教育機関として、だれもが利用できる公共施設である。未来政策会議での受益者負担の論議は参考にする。

下福岡地域に水害避難道路を

足立志津子議員

問 40年近く待望されている旧福岡高校西側、市道第667号線の進捗状況と、県道との交差部分の安全対策は。

答 幅6m、全長300mの整備で、小型車の交互通行が可能。県道交差部分は路面標示と車幅制限で安全を図り、平成27

年度中に完成予定。

富士見都市計画の協議機関連の必要性

谷 新一議員

問 2市1町で構成する富士見都市計画の協議機関連の必要性については。

答 都市計画決定等をする場合には、構成市町の一体性を確保する必要がある。今後、他の市町の意向を確認しながら検討していきたい。

安全なまちへ

防災

防災訓練のさらなる充実で市民に安心を

岸川彌生議員

問 防災訓練の様子を広く市民にPRし、さらに啓発を図っては。

答 市報等の紙でのPRのほか、報道機関の協力を得てDVDを作成し、庁舎ロビーなどでも放映する。問 障がいのある方々の声を防災訓練に反映して

る。

ほしい。

答 障がいのある方々への情報保障やコミュニケーション手段のよりよい活用を図れるよう検討するとともに、障がい者団体の方々と意見交換を行い課題解決に努める。

防犯対策

仙田 定議員

問 上福岡駅前広場に、防犯カメラと情報発信のた

めに電光掲示板の設置を。答 防犯カメラ付き自動販売機の導入にあたり、駅前周辺への設置も含めて検討する。電光掲示板については、設置場所や費用面の課題もあるが、今後の検討課題とする。

地区計画で防災意識の向上を

堀口修一議員

問 国において、地区防

災計画の策定制度がスタートした。どのように対応していくのか。また、自分の住む地域を知ることの取り組みは。

答 住民自ら取り組むことが、防災意識の向上につながる。市として、策定マニュアルを提示していく。また、マンションなどで自主的な取り組みがあれば積極的に支援していく。

総合防災訓練の課題

鈴木啓太郎議員

問 3回目の総合防災訓練が行われたが、今後は市民の参加意

欲を高めていくのも重要である。事業後のアンケートなどに特徴はあるか。

答 文化祭などの事業が重ならないようにしてほしいといった意見のほか、自助のための訓練



初期消火設備による訓練

問 自主防災組織への補助金増額を準備中。